



ジェンダー社会科学研究センター

Center for Gender Research and Social Sciences
Hitotsubashi University, Graduate School of Social Sciences

CGraSS 公開レクチャー・シリーズ

第7回 講師: キャロル・エンズ博士

Carolyn Zerbe Enns Ph.D. (米国: コーネル大学 教授)

「ジェンダーと女性心理学の功績と課題 ～今、何に注目をすべきか～」

フェミニスト心理療法やジェンダー教育を得意な研究分野とし、フェミニスト・カウンセリング領域の発展に寄与され、アメリカ心理学会 (American Psychological Association) より Heritage Awards を受賞された心理学者のエンズ博士をお招きします。一般に「フェミニスト心理療法」に対して固定的なイメージを抱きがちですが、エンズ博士は多様なフェミニスト心理療法の理論と実践、フェミニスト・ポストモダニズム、レズビアン/クィア・フェミニズム、第三波フェミニズムについても言及されています。長年フェミニスト心理療法について研究され、国際的に活躍されているエンズ博士が、女性心理学・ジェンダー心理学の貢献と課題について、女性の中の多様性、女性への暴力、雇用、ボディ・イメージなどの問題を取り上げ、講演くださいます。

講演には通訳がつきます。ふるってご参加ください(予約は不要です)。

司会: 柘植道子さん

(一橋大学法学研究科 留学生専門教育教員 臨床心理士)

日時: 4月28日(火曜日) 午後5:00～7:00

場所: 一橋大学東キャンパス マーキュリータワー5階 3508

*この企画は、東北大学グローバル COE「グローバル時代の男女共同参画と多文化共生」、連携拠点(東京大学社会学研究所)と共催です。

連絡先: ジェンダー社会科学研究センター cgrass@soc.hit-u.ac.jp

